

楽楽館だより 第213号【令和7年3月度】

桜咲く季節がやってまいりました。今年は平年並みの開花のようです。春は出会いと別れの季節。皆様の周囲でも卒業や入学、新社会人の年を迎える方がいらっしゃるのでは？明るい未来を願い、新生活のスタートですね。楽楽館の中も学生さんの集まりのような、生き生きと笑い声に花が咲く時間が流れています。待ちに待った春！ **五感(視・聴・嗅・味・触)**を使って「春」を満喫しましょう！

◇～ 桃の花・菜の花・川の春風 ～◇



まずは、**視覚**と**嗅覚**！桃の花や菜の花を愛で、坂川沿いを心地よい春風を感じながら散歩に出かけました。風に乗って花の香りが漂い「春が来たね～」と、皆様の笑顔も満開です。



◇～ 音楽会 ～◇

利用者様のご家族が音楽会を開いてくださいました。



聴覚！エレキギターと歌。聴き馴染みのある曲ばかりで自然と歌詞を口ずさんでしまいます。最後は美空ひばりさんの「川の流れるように」「愛燦爛」を皆で合唱！素敵な午後のひとときでした。



◇～ お彼岸に「ぼた餅」 ～◇

味覚！お彼岸のおやつにスタッフ手作りの「ぼた餅」。春のお彼岸は「こし餡のぼた餅」秋のお彼岸は「つぶ餡のおはぎ」と言われるそうです。春は牡丹が咲くので「牡丹餅」、秋は萩が咲くので「お萩」、あんこは小豆の収穫が秋なので皮が柔らかく炊けるため「つぶ餡」が美味しく、春は保存していた小豆のため「こし餡」にしたほうが美味しくいただけるという理由があるそうです。



◇～ ハンドマッサージ ～◇

触覚！楽楽館1号館の庭に桃の木があります。「源平桃」という品種で1本の木から白と紅の花を咲かせます。源氏と平氏の競い合いをイメージして名付けられたそうです。その桃の花が満開を迎え、お花見を兼ねて桃の木の下で「ハンドマッサージ」☺指先から血流が良くなり身体もぽかぽかしてきます。



◇～ 今月のナイスショット ～◇

楽楽館ではこれから介護の資格を取得しようと頑張る実習生を受け入れ応援しています！実習中のひとコマ、肩もみでコミュニケーション☺



落語イベント第4弾、演目は「西行」法師の失恋物語。おまけに南京玉すだれ！